



道しるべ

内科（透析医療）／リハビリテーション科

診療科のご紹介

11月1日は「いい医療の日」です

トップメッセージ



理念 信頼され愛される病院
社会医療法人 愛生会

<http://www.aiseikai-hc.or.jp/>

医療は愛生会

検索



総合上飯田第一病院のケータイ・スマホ用サイトはこちら▶



11月1日は『いい医療の日』です

社会医療法人 愛生会

理事長
加藤 知行
かとう ともゆき



11月1日が「いい医療の日」として、今年6月に日本記念日協会に登録されました。

「良い医療者、良い医療」とは一体どのようなものを言うのでしょうか。医療を受ける側か、提供する側かによってその答えが異なる場合もあるでしょう。

時代と社会背景で 医療は変わる？

昔は赤ひげ先生に代表されるような1人の名医が全てを決めるパターンリズムの医療でしたが、今の医療は高度化して医師だけでできるものではなく、医師、看護師など医療にかかわる多くの医療者が協働して治療に当たるチーム医療の時代となつて、病院の総合力が問われます。

また長寿社会の必然として増えてきたがん、認知症、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）などに対しては短期的な入院治療ではなく、医療福祉施設・住民・行政が協力して社会生活をしながら治療を続けられるコミュニティを作っていくことが望まれます。

さらに年々増加する医療費を抑制するために財政主導による医療改革として、医療提供体制はそれぞれの病院の役割を定め、病院完結型から地域完結型の医療への転換、地域で支える医療を目指して2025年までに

地域包括ケアシステムを構築することが進められています。

このように医療形態は時代や社会背景によって変わりますが、いつの時でも医療者は最良の医療をお届けできるように日々努力し、診療に当たっています。私は、的確に病気を治すことが医療者にとって一番大事なことでと思っていますが、その医療者がどんなに卓越した医療技術を持っていたとしても、専門家でない患者さんが、それを見極めるのは容易なことではありません。患者さんやご家族のお気持ちや視点も理解できて、患者さん一人ひとりに適した安全で最良の医療を提供し、患者さんやご家族を安心させることができる医療者や医療が、「良い医療者、良い医療」ということになるのかもしれない。

まもなく11月1日がきます。高齢化が進み、医療提供体制も変わる今の「いい（11）医（1）療」はどのようなものか、これを機会に考えてみませんか。

地域包括サポートセンターのご紹介

地域に根付く医療を目指して 途切れのない医療・介護のために



総合上飯田第一病院
副院長 兼
地域包括サポートセンター長
やまぐち ようすけ
山口 洋介

平成29年6月21日より副院長（地域包括担当）、地域包括サポートセンター長を拝命しました。この地域における医療連携をより強固にし、患者さんをはじめとした皆さまが安心して医療・介護を受けられるように、邁進してまいりますのでよろしくお願い致します。

僻地医療を経験して

15年くらい前にこの総合上飯田第一病院に赴任してから、外科医としてたくさんの人たちとかかわってきました。ちょうど5年前に田舎の医療に触れてみたいと思い、瀬戸内海の島の病院に赴任しました。入院患者さんも80歳以上の人がほとんどで、70代の人を見かけると若い人が入院してきたなあと思うくらいでした。

高齢化率が非常に高く、多くの方がひとり、もしくは老夫婦でお住まいでした。糖尿病・心臓病・腰痛・関節痛といういろいろな病気はありますが、どこが特別悪いというわけでもありません。外来に来てもお話を聞いて、お変わりがないことを確認して帰っていくといったようなことでした。足の爪が自分で切れない方も多く、変形した爪を切ってもらいに来る方もいました。病院でしたが医療と介護が混在している

ようで、私の仕事は医師というより、よろず相談みたいでした。その時感じたのは、確かに専門性の高い医療を提供する医師も必要ですが、一方でよろず相談のような医師も必要なのだと感じ、結構楽しんでやってきました。

2年前に総合上飯田第一病院に再び赴任し、3年の僻地医療は終了となりました。名古屋は**とても都会ですが、どんどん高齢化の波は押し寄せてきており、老夫婦で暮らしている方や**

ひとりで暮らしている高齢者の方も多く
いらつしやいます。3
年間の僻地での経験
も生かすことができ
るのではないかと感
じています。



支援内容のご紹介

総合上飯田第一病院の地域包括サポートセンターは皆さまの入院、退院をスムーズに行えるように支援します。

1 入院サポート

病院・医院・施設から受診したり、入院したりする際の窓口となり、スムーズに受け入れる手助けをします。窓口を一つにすることで、より円滑に対応できるようになります。



2 退院サポート

自宅に帰る際に必要な介護サービス等の支援を迅速に行います。転院の手続等のお手伝いをさせていただきます。適切な施設を探し、退院後の生活の心配を少しでも軽くします。



3 その他

できることと、できないことがあります。困ったことがあれば一度相談してください。



透析医療の今後について

はじめに 一 副院長就任のごあいさつ

平成29年7月より副院長として就任いたしました。私は平成4年卒業後に、愛知医科大学附属病院の第一内科に入局しました。研修医途中に岐阜県立多治見病院に赴任し、平成7年より腎臓内科スタッフとして働き、平成9年帰局しました。

愛知医科大学附属病院では、平成13年4月臓器別診療科に改編があり腎臓・リウマチ膠原病内科に科名が変わった後、平成19年より関連病院として総合上飯田第一病院と更に連携を強化してきました。私は総合上飯田第一病院で10年程、検査（腎生検）や外来にて非常勤医として勤務してきましたが、今回ご縁があり上飯田クリニック副院長にさせていただくこととなりました。

沿革を見ますと、昭和49年3月に旧上飯田第一病院を改築し人工透析部を設置、昭和62年4月人工透析部を上飯田第一病院附属上飯田クリニックとして分離し開設とありました。古くから人工透析に力を注いできたことがわかります。また近年は、送迎や透析中リハビリテーションも行い、患者さんに積極的に携わっています。

大学では20年お世話になりましたが、今後は、その知識経験を生かしていきたいと思います。



上飯田クリニック
副院長
みうら なおと
三浦 直人

透析患者の現状

図1 慢性透析患者数の推移

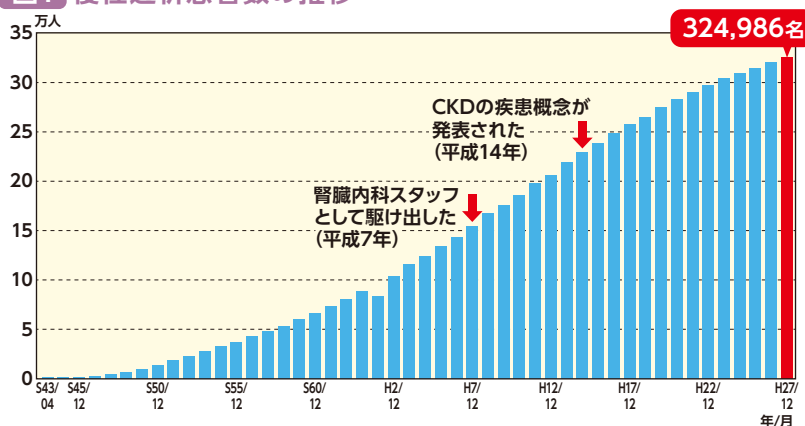
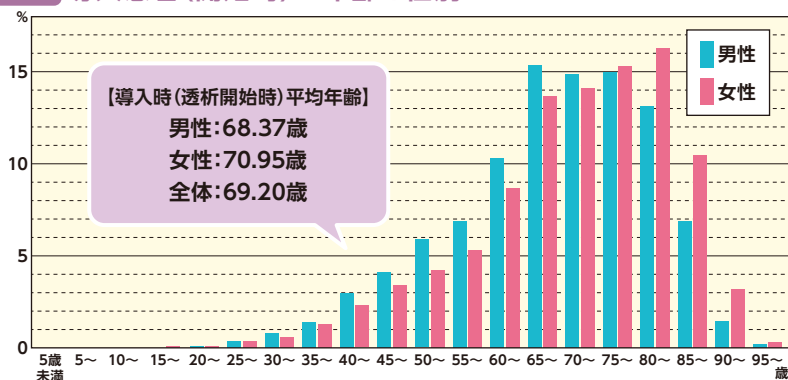


図2 導入患者（開始時）の年齢と性別



日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現状」より

腎疾患は、今では慢性腎臓病（CKD）という概念が確立し、早期に発見、治療もできるようになりました。しかし末期腎不全で透析療法を受けている方は、平成27年末、日本全国で30万人以上になっています。医師となり駆け出しの平成7年頃と比較しても15万人から30万人と2倍になりました【図1】。導入時（透析開始時）平均年齢も上昇、男性が68.37歳、女性は70.95歳（全体の平均年齢69.20歳）【図2】とのことで、この20年間で10歳高齢化したことになります。更に、高齢者では85～90歳でも透析を開始する時代になりました。

透析となる患者さんの原因は糖尿病が第一位ですが、動脈硬化による腎硬化症も増加傾向にあります。透析を開始した後も透析特有の合併症（腎性貧血、腎性骨異常栄養症やアミロイドーシス）に加え、脳血管障害や心疾患、悪性新生物、認知症の増加が懸念されます。今後、通院を続けるための体力づくりも重要となり、血液透析患者の生活の質、その家族の協力や地域社会環境も問題になると考えられます。

少しでも健やかに、個々にあわせ安心安全に透析ライフを維持できるよう、微力ながら尽力したいと思っています。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

退院後の生活を見据えたリハビリテーション

平成29年6月21日より、上飯田リハビリテーション病院の副院長に就任いたしました。地域の皆さんのお役に立てるよう、日々精進していく所存です。何卒、よろしくお願いいたします。



上飯田リハビリテーション病院
副院長
いとう けいいち
伊東 慶一

リハビリテーション治療

私たちの体は、動かさない状態が続くとすぐに全身の筋力が弱くなって動かしくくなります。同時に関節の動きが硬くなり、無理に動かそうとすると痛みが出やすくなるため、さらに動かせないという悪循環が起こってしまいます。このような機能の低下を予防し、もし機能障害が残ったとしてもその程度をできる限り小さくすることが、早い時期に適切なリハビリテーション治療を行う目的です。

生活の見直し

もし退院後…



家で体を動かさない
外出が少ない

体の機能が衰える
認知機能の低下など

以前よりも多くの介護が
必要になることも!!



過度の飲酒、喫煙、乱れた食生活などの
生活習慣を続ける

健康状態の悪化

早期の疾病再発の引き金にも!!

退院をした後の日常生活で、家の中で体を動かさない、あるいは外出する機会が少ないと、体の機能が衰えて動けない状態に戻ってしまいます。あまり活動をしないうちは認知機能の低下も来たり、いつの間にか、以前よりも多くの介護を要する状態になることがあります。また、過度の飲酒や喫煙及び、食生活の乱れなど、健康状態を悪化させるような生活習慣は早期の疾病再発の引き金にもなります。そのために、入院をしているうちに退院してからの環境や生活習慣を見直す必要があります。

当院でのリハビリテーション

当院は、急性期治療後の患者さんが日常生活動作獲得を目的としたリハビリテーションを実施する回復期リハビリテーション病院です。患者さんとそのご家族に関わる全てのスタッフがチームとして、一人ひとりに合ったリハビリテーションを提供しております。病気やけがによる日常生活動作の困難状態からの回復だけでなく、退院後の生活を見据えた環境調整や疾病予防のための生活指導もリハビリテーションの一環と考え取り組んでいます。さらに、地域との連携も図りながら、社会参加のサポートにも力を注いでいます。患者さんが、退院後も住み慣れた場所や地域で充実した生活を送ることができるように、また、「この病院を選んで良かった。」と退院後にも言ってもらえることを目標に、現状に満足することなく、これからも全力でリハビリテーション医療を提供していきます。



▲足の振り出しをよくするために、脛の筋肉に電気刺激をあてながら歩行練習をする場面。

第18回

市民公開講座

テーマ「知って得する肝臓の話」

平成29年5月20日(土)

来場者数 99名

演題1 肝心要(カンシンカナメ)な肝臓の話



講師
総合上飯田第一病院
消化器内科第二部長
小田切 英樹

先日5月20日に肝臓についての市民公開講座を開催いたしました。大勢の方にお越しいただき、大盛況のうちに講義ができたのは、ひとえに皆さまのおかげと感謝しております。もともと肝臓は予備力が強いいため「沈黙の臓器」といわれるほど症状が出にくく、何をしているか不明な地味な臓器だと思います。その肝臓に関して、場所や形、大きさ、役割から肝臓の病気全般、症状、治療法などをお話しし、演者を変えて脂肪肝、肝硬変での栄養の取り方やアルコール性肝障害のこわさ、アルコール依存症の際の対応などのお話をいたしました。最近のトピックとしては、C型肝炎に関しては新薬の開発に伴いほぼ完治可能となったのですが逆に脂肪肝やアルコールによる肝臓病が目立ってきている印象です。何か肝臓でお困りのことがあれば、お気軽に外来にお越しください。

演題2 生活習慣で防ぎよう肝臓病



講師
総合上飯田第一病院
管理栄養士
酒井 晶帆

肝硬変や肝がんへ進行しやすい脂肪肝の予防は、食事や運動などの生活習慣改善が重要です。改善のポイントは

- 1 肥満改善
- 2 1日3食、主食・主菜・副菜が適量揃った食事を摂る
- 3 間食、アルコールは控えめに
- 4 適度な運動の習慣化

です。



肝硬変などに進行した場合は疾患や症状により制限や補充が必要となります。食事で不安なことがありましたら、主治医に栄養相談の希望をお伝えください。

今回の市民公開講座は、夏を思わせるような快晴の日でした。演題数が多かったですが、多くの参加者に最後まで話を聞いて頂けました。参加者からは、「肝臓の話、気を配ろうと思った。」「解りやすかった。」「親しみのある話し方でした。」「など、様々な感想が寄せられました。



演題3 肝臓治療と社会制度あわせてアルコール依存症



講師
総合上飯田第一病院
医療ソーシャルワーカー
権田 吉儀

国の肝炎対策である、「肝炎対策基本法」・「特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法」の説明と、制度成立の背景を紹介しました。制度には

- 1 肝炎医療費助成制度
- 2 難病医療費助成制度
(旧特定疾患治療研究事業
…愛知県独自疾患)
- 3 小児慢性特定疾病治療研究事業
- 4 身体障害者手帳(肝臓機能障害)
- 5 障害年金(肝疾患)

があります。アルコール依存症の話では「アルコール健康障害対策基本法」とアルコール依存症の特徴3点と治療について説明し、依存症の自己チェック項目を紹介しました。



第19回 市民公開講座 無料

日時 平成29年11月11日(土) 13:45開演

会場 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室

テーマ 世界糖尿病デー「知ろう 語ろう 糖尿病」

演題	【第1部】「糖尿病 最近の話題」……………	講師 総合上飯田第一病院 糖尿病内科部長 山本 由紀子
	【第2部】「あなたは大丈夫? 簡単にできる!! 認知症チェック」……………	講師 認知症看護認定看護師 松井 千恵/加藤 貴代
	「体組成測定と食生活アドバイス」……………	講師 摂食・嚥下障害看護認定看護師 中川 由香/栄養科
	「糖尿病と感染症~冬に流行するインフルエンザ~」……………	講師 感染管理認定看護師 清水 真介
	「教えます! 自己管理方法~健康チェックから目標を立てよう~」……………	講師 糖尿病看護認定看護師 河井 智子
	「糖尿病と傷の治療~傷ができた時の対処法はこうだ!!~」……………	講師 皮膚・排泄ケア認定看護師 林 佳美
	「がんの認定看護師とがん体験者によるおしゃべり相談会」……………	講師 がん性疼痛看護認定看護師 佐藤 真嗣

第20回 市民公開講座 無料

日時 平成30年1月20日(土) 14:00開演

会場 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室

テーマ 知っていますか? 認知症の話

申込開始日/平成29年11月1日(水)

お問い合わせ・お申し込み 総合上飯田第一病院 地域包括サポートセンター 地域医療連携室 TEL(052)991-3111

市民公開講座(今後の開催予定)

さとし耳鼻咽喉科クリニック

診療科目 耳鼻咽喉科
アレルギー科



院長 加藤 賢士

開業の経緯

名古屋市北区で生まれ育ち、群馬大学医学部へ進学しましたが、平成14年卒業の際に名古屋大学耳鼻咽喉科教室へ入局しました。その後は岐阜県立多治見病院、公立陶生病院勤務を経て、生まれ故郷にほど近い、守山区瀬古にて開院しました。

診療の傾向

- 耳鼻咽喉科における様々な疾病に対し、老若男女を問わず診療を行います。
- スギ花粉症に対する舌下免疫療法を行っています。
- 睡眠時無呼吸症候群に対して、自宅で行える簡易アプノモニター検査を行い、持続陽圧呼吸療法(C-PAP)の導入・管理、必要であれば専門医療機関への紹介を行います。
- 緊急性や専門性の高い疾患に関しては、適切な医療機関と連携を行い、紹介しています。



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
15:00~18:30	○	○	○	○	○	○

◎...9:00~13:00

休診日/水曜、土曜午後、日、祝日

〒463-0090 名古屋市守山区瀬古東3-1245-1

TEL(052)758-5700

FAX(052)758-5701

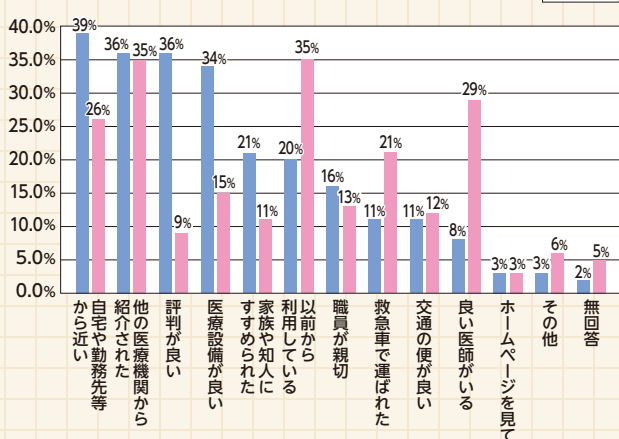


皆さまへのメッセージ

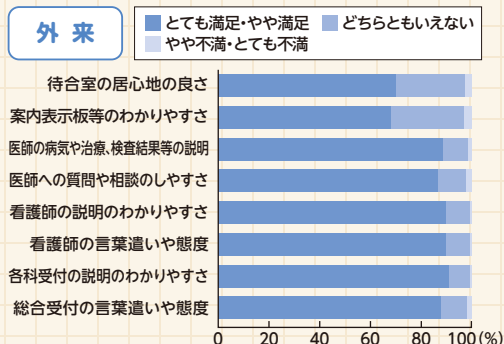
時間をかけて、わかりやすく、丁寧な説明をするように常に心がけています。また、小さなお子さんにとって、病院は怖いところでもあるので、笑顔を決やらず、明るい雰囲気を作るように努めています。来院しやすい、町のかかりつけ医を目指して頑張りますのでよろしくお願いいたします。



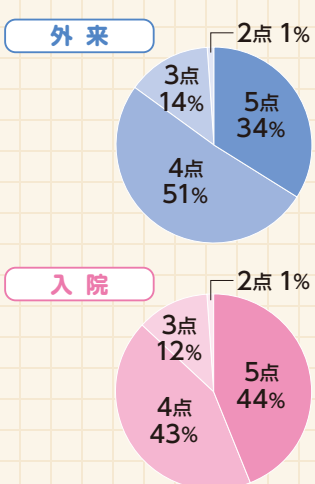
Q 当院を選んでいただいた理由を教えてください(複数回答可)



Q 当院の設備・診療・接客についてはいかがですか? (一部抜粋)



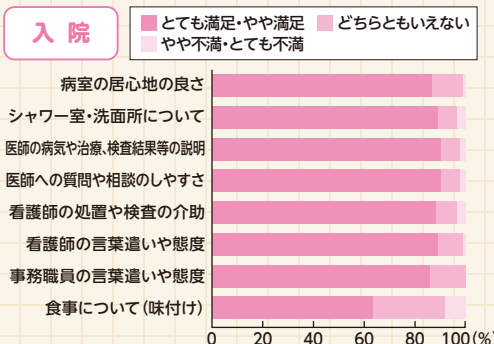
Q 当院は総合的に5点満点で何点ですか?



総合上飯田第一病院

平成28年度 患者満足度調査結果

当院サービス向上委員会では、平成29年2月に患者満足度調査を実施しました。
ご回答いただきましたアンケートは、外来患者さん527枚(回答率82.1%)、入院患者さん95枚(回答率62.5%)でした。結果の一部をご報告します。
外来・入院ともに、これらの評価の他にも様々なご意見・ご要望をいただくことができました。患者さんからいただいたご意見をもとに、今後も「信頼され、愛される病院」となるよう取り組んでいきたいと思っております。



愛生会からのお知らせ 平成29年10月~12月

日 時		場 所		講 師		
糖尿病教室		毎月第1木曜日 10:30～13:30	※10月より開催日が、毎月第1金曜日から 毎月第1木曜日に変更となります。		総合上飯田第一病院 南館8階 会議室	医師・管理栄養士・ 理学療法士
糖尿病バイキング教室		2月・5月・8月・11月 第4木曜日 11:30～13:00				医師・管理栄養士
お問い合わせ・お申し込み／ 総合上飯田第一病院 内科外来						TEL (052) 991-3111
マタニティヨガ教室 費用 300円		毎週火曜日 14:00～16:00		総合上飯田第一病院 南館8階 会議室	助産師	
母乳教室 無料		毎月第1土曜日 10:00～11:30				
母親教室 無料		毎月第1・第3水曜日 13:30～15:30				
ファミリークラス 無料		毎月第1土曜日 13:30～15:30				
安産教室 無料		毎週金曜日 15:00～16:00		総合上飯田第一病院 北館2階 産婦人科外来	助産師など	
YYサークル(育児サークル) 無料		毎月第1・第3木曜日 14:00～15:00		総合上飯田第一病院 南館8階 会議室		
※授乳中のママが参加していますので、パパのご参加はご遠慮ください。		対 象 産後2ヶ月～1歳未満の「ママと赤ちゃん」				
お問い合わせ・お申し込み／ 総合上飯田第一病院 産婦人科外来						TEL (052) 991-3111
あいちゃんカフェ 費用 100円		毎月第3金曜日 14:30～16:00	10月20日(金)「ハロウインの飾り」 11月 9日(木)「紅葉のリース」 ※11月のみ第2木曜日開催 12月15日(金)「松ぼっくりツリー」	総合上飯田第一病院 南館8階 会議室	看護師・介護士・ 作業療法士・ ケアマネジャー・ 医療ソーシャルワーカー	
お問い合わせ・お申し込み／ 各事業所または総合上飯田第一病院 あいちゃんカフェ事務局						TEL (052) 991-3111 内線6110

予約受付中 人間ドック・各種健康診断

詳しくはホームページをご覧ください。



お問い合わせ 総合上飯田第一病院 健診センター TEL (052) 991-3111

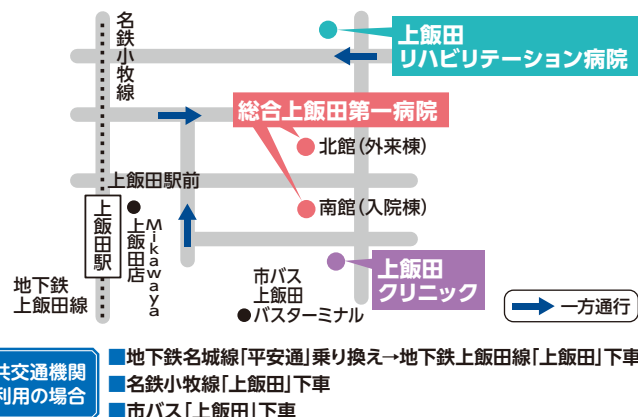
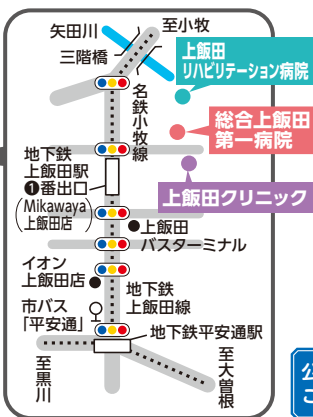
<http://www.kamiida-hp.jp>



社会医療法人 愛生会
Aiseikai Healthcare Corporation

理念 信頼され愛される病院

- 一、私たちは、「安心・安全の医療と介護」で地域に貢献します
- 一、私たちは、「地域の救急医療」に貢献します
- 一、私たちは、「地域と共に、人と共に」の心を大切にします



公共交通機関ご利用の場合
 ■地下鉄名城線「平安通」乗り換え→地下鉄上飯田線「上飯田」下車
 ■名鉄小牧線「上飯田」下車
 ■市バス「上飯田」下車

急性期

社会医療法人 愛生会
総合上飯田第一病院
 ●一般病棟 (7対1看護配置)
 ●地域包括ケア病棟
 ●訪問リハビリテーション
 名古屋市中区上飯田北町2丁目70番地
 TEL (052) 991-3111

回復期

社会医療法人 愛生会
上飯田リハビリテーション病院
 ●回復期リハビリテーション病棟
 ●通所リハビリテーション
 名古屋市中区上飯田北町3丁目57番地
 TEL (052) 916-3681

慢性期

社会医療法人 愛生会
上飯田クリニック
 ●人工血液透析
 名古屋市中区上飯田北町1丁目76番地
 TEL (052) 914-3387

介護	愛生訪問看護ステーション	名古屋市中区上飯田通2丁目37番地CKビル1階	TEL (052) 991-3210
	あいせいケアステーション	名古屋市中区上飯田通2丁目37番地CKビル1階	TEL (052) 991-3152
	あいせいデイサービスセンター	名古屋市中区辻本通2丁目38番地	TEL (052) 991-3548
	愛生居宅介護支援事業所	名古屋市中区上飯田通2丁目37番地CKビル1階	TEL (052) 991-3546

教育

愛生看護専門学校
 名古屋市中区五反田町110番地の1
 TEL (052) 901-5101

愛生会本部
 名古屋市中区上飯田通2丁目37番地
 TEL (052) 914-7071